

Ⅱ 各部・分教室

虚弱・肥満など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重度・重複など	11	21	21	12	14	14	16	15	11	0	0	0	134
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	12	22	24	16	17	15	22	17	15	0	0	1	161

本校訪問教育部

令和5年度 児童・生徒出身地域表

		小学部	中学部	高等部	計	備考
大阪府	大阪市	6	6		12	
	高槻市	2	1		3	
	池田市	1			1	
	箕面市	6	1		7	
	豊中市	6	1		7	
	茨木市		4		4	
	吹田市	5	4		9	
	枚方市	3	3		6	
	寝屋川市	2		1	3	
	交野市	1			1	
	大東市	2			2	
	東大阪市		4		4	
	堺市	1	1		2	
	泉大津市		2		2	
	八尾市		1		1	
	岸和田市	1	3		4	
	泉佐野市	1			1	
	守口市	1			1	
	門真市	2			2	
	四條畷市	1			1	
北海道	札幌市	1			1	
	二海郡	1			1	
長野県	駒ヶ根市	1			1	
山梨県	甲斐市		2		2	
東京都	立川市	2			2	
神奈川県	横浜市		1		1	
静岡県	熱海市		1		1	
富山県	富山市	2			2	
岐阜県	岐阜市	1			1	
愛知県	名古屋市	1			1	
	瀬戸市	1	1		2	
	一宮市		1		1	
	東海市	1			1	

II 各部・分教室

	尾張旭市	1			1	
	稲沢市		1		1	
三重県	亀山市	1			1	
	三重郡		1		1	
	鈴鹿市	1			1	
滋賀県	近江八幡市	2			2	
	彦根市	1			1	
京都府	京都市	3			3	
	木津川市	4			4	
	長岡京市	1	1		2	
	八幡市		1		1	
	城陽市		1		1	
	福知山市	1			1	
	舞鶴市	1			1	
奈良県	奈良市	2	1		3	
	葛城市	1			1	
	生駒市	1			1	
	大和郡山市	1			1	
	橿原市	1			1	
兵庫県	尼崎市	2	3		5	
	伊丹市	3	1		4	
	川西市	2	1		3	
	神戸市	3	3		6	
	加古川市	1			1	
	姫路市	1			1	
	美方郡	1			1	
和歌山県	有田市		1		1	
	和歌山市	1			1	
	日高郡	1			1	
	有田郡	1			1	
広島県	広島市	4	1		5	
山口県	岩国市	1			1	
沖縄県	浦添市		1		1	
	宜野湾市	1			1	
	石垣市	1			1	
		97	54	1	152	

1 児童・生徒の実態と今年度の特徴

(小中学部)

- ・今年度は、小学部 9 学級、中学部 4 学級認定でスタートした。
- ・児童・生徒の病気や障がいの状態が多岐に渡り、対応の難しいケースが増加している。
(重度心身障がい、肢体不自由、知的障がい、心疾患、血液腫瘍、小児がん、高次脳機能障がいなど) ボバース記念病院では、脳性麻痺の児童生徒が次々と計画入院してくる。ま

II 各部・分教室

た、今年度は退院後、卒業後の進路について多くの機関との連携が必要となるケースがあった。国立循環器病研究センターでは、心臓移植の待機をしている児童生徒が増加しており在籍が長期化している。長期入院の児童生徒中心にオンラインでの出前授業や社会見学を実施した。また、精神分教室とつないで植物の育成を依頼し、アバターロボットで観察を行った。今年度は感染症が少し落ち着いた時期もあり移植が何件か進み、移植後のオンライン授業の方針を病棟と探った。また長期入院からの復学支援ということでアバターロボットを利用して不安の軽減を行った。

- ・今年度も、阪大病院から自宅療養となり、在宅訪問をおこなうケースが3件あり、今後、同様のケースが増えてくると考えられる。長期入院のため、地域校にほとんど登校することができていないケースもあり、復学に際して地域校や関連機関との連携を図った。
- ・今年度、特にボバース記念病院への入院と国立循環器病研究センターへの入院が多く、小・中学部共に定数を超える状態が長期間続いたため、他部署の教員も含め授業調整を行い、訪問教育を実施した。

(高等部)

- ・今年度は高等部1学級認定を受け、1名の生徒が在籍した。生徒は本校中学部より内部進学した生徒である。
- ・疾患は先天性筋ジストロフィー（ウルリッヒ病）。
- ・自立に向けた取組みを行っていくため、病棟との連携を強化した。また、卒業後の進路や選挙、消費者トラブルなどの出前授業を行った。
- ・本校生徒が1名のため、訪問教育を受ける児童生徒とつないで交流の取組みを実施した。

2 指導の内容と体制

- ・小学部…原則2名で担当し、個々の状況に応じて個別学習やグループ学習をおこなっている。
- ・中学部…5教科対応のケースでは、2週間で6コマの授業をおこなっている。生活課程対応のケースでは2名か3名で担当している。
- ・高等部…1学級認定学習に関しては、生徒の健康状態に留意しながら、個に応じた教育課程を設定した。昨年度に引き続き、今年度も感染症対策を行いながら、様々な制約が少しずつ緩みつつの学習活動となった。学校行事(体育祭、文化祭、校外学習)は、内容を精選し、大阪刀根山医療センターの医師の許可のもと可能な形で実施した。